

★保護者の方と一緒に、家電リサイクルについてインターネットサイトなどを検索し答を導き出してください。
 間違っている問題はありませんが、一度家電リサイクル工場にお越しいただくことでより詳しく楽しく学んでいただくことができます。各地のリサイクルプラントは、当社ホームページのリサイクルプラントマップ
 (https://www.krsc.co.jp/system/recycling_law/)、または一般社団法人家電製品協会のホームページ
 (https://www.aeha.or.jp/action_of_recycling/plant/) にてご確認ください。

◆家電リサイクル法には家電製品を作った会社、売ったお店、使った人のそれぞれに役割があります。間違っているものはどれでしょう？



使った人



作った会社



売った店

- ① 使った人は、使わなくなった家電製品を引き渡し、リサイクル料金と収集運搬料金を支払い正しい方法で処分します。
- ② 家電製品を作った会社はリサイクルし、リサイクルしやすい製品づくりをします。
- ③ 家電製品を売ったお店は、使わなくなった家電製品を買い取ってお店で売ります。

進め方：

家電製品をリサイクルされたことがあれば、その時どんな風だったか参考にお話ししてください。
 リユースショップに持って行っても「リサイクル」されません。

◆リサイクルプラントに運ばれてくる家電製品はそれぞれ品目ごとに分けられ大きなカゴに入られます。
 そして、重さを量るのですが、なぜ重さを量るのでしょうか。
 ※正しいと思うものに丸をつけてください。

- ① カゴ1つ分の重さを量り、解体したものがどれだけ資源に分けられたかを調べるため。
- ② カゴ1つ分の重さを量り、いらぬものが入っていないか調べるため。
- ③ カゴ1つ分の重さを量り、毎日入ってくる製品の重さのちがいを調べるため。



進め方：

重さを量ることでどんなことが分かるでしょうか。リサイクルは「資源にもどす」ために、戻せるものがどれくらいあるか調べる必要があるのです。

◆インターネットで調べてみよう！

家電リサイクル制度も5年ごとに見直しがされています。経済産業省発行の「家電リサイクル法担当者向けガイドブック 2019」
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/kaden_recycle/shiryousyu/guidebook2019_a4douplexprint.pdf に、より詳しい内容が掲載されています。